

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



中国（手前）と日本で書道の腕前を披露し合う書き比べ（席上揮毫）

書で日中の心をつなぐ

■第9回日中書道交流展

第9回日中書道交流展が6月29日、市史料館で開催されました。

これは、書道家である朱涛氏が平成22年度に本市へ訪日教育旅行団を派遣したことがきっかけで平成24年から行われ、5年ぶりの開催となります。今回、上海市長寧区書法家協会の会員約90人が来牧。会場には、本市から文化協会書道部をはじめ90点、同会から64点の計154点が展示され、書道を通じて交流しました。また、太鼓や剣道も体験し、日本の文化を楽しみました。

スタジアム最大規模の国際大会開催

■Stab High Japan(スタブ ハイ ジャパン)

「Stab High Japan」が6月22日・23日、静波サーフスタジアムで開催されました。

サーフィンの空中技「エアリアル」の技術を競う国際大会で、国内では初開催。同施設開業以来、最大規模の大会で臨時観覧席800席が用意されました。競技は3部門に分かれ、海外を中心に選手約60人が出場。選手はサーフボードに乗ったまま波から2～3メートルジャンプし、回転したりボードを手でつかんだり技を競いました。大技が決まると観客から大きな歓声が上がりました。



波から高く跳び上がり、技を決める外国人選手



夢先生の山田さんとゲームをする児童ら

「夢の教室」で将来に心躍る

■日本サッカー協会こころのプロジェクト「夢の教室」

（公財）日本サッカー協会こころのプロジェクト「夢の教室」が6月2日、GasOneアリーナ牧之原で開催されました。

これは、さまざまな競技の現役選手などを「夢先生」として学校などに派遣し、「夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さ」を伝えているもの。今回の夢先生は、元サッカー日本代表の山田隆裕さん。市内小学5・6年生親子17組が参加し、ゲームや話を通じて、夢に向かって努力することの大切さなどを学びました。

夢舞台「鈴鹿8耐」に再び参戦

■市内チームが鈴鹿8時間耐久ロードレースに2年連続出場

市内レーシングチーム「ゲズンハイトレーシング」（菅山区）が国内最高峰のオートバイレース「2024FIM世界耐久選手権 鈴鹿8時間耐久ロードレース 第45回大会」に2年連続で出場が決定したことを受け、5月30日に市長を訪問しました。

7月19日から21日にかけて、鈴鹿サーキット（三重県）で行われる大会に出場予定です。

伊藤章人代表は「前回よりも1つでも高い順位で完走し、市のPRをしたい」、ライダーは「30位以内を目指したい」と意気込みを話しました。



レースで走行予定のバイクとともに記念撮影するチーム

市内初の「道の駅」着工

■道の駅「そらっと牧之原」起工式

道の駅「そらっと牧之原」の起工式が6月30日、坂部区内の建設現場にて執り行われました。

地元農作物の市場規模拡大による地域農業の活性化、市の魅力発信による交流人口の増加など、にぎわいの場となることが期待されている施設で、市内初の道の駅であり、令和7年度中の開業を目指しています。

式では、杉本市長によるくわ入れのほか、宮司による祈祷などを行い、関係者らが工事の安全と無事を祈願しました。



杉本市長によるくわ入れの儀



株式会社小糸製作所の大竹執行役員榛原工場長と杉本市長

外国人児童生徒教育支援のために

■株式会社小糸製作所が「企業版ふるさと納税」を活用し寄附

市は、株式会社小糸製作所から「企業版ふるさと納税」を活用した寄附をいただき、贈呈式が6月24日に市役所榛原庁舎で行われました。

式では、同社の大竹雅浩執行役員榛原工場長から杉本市長に500万円（目録）が贈呈され、杉本市長から同氏に御礼状が手渡されました。

大竹執行役員榛原工場長は「当社は市内に2つの工場がある。今後もこのような活動を通じて、市と共に地域の活性化とさらなる発展に貢献していきたい」とあいさつしました。

土器と火起こし体験で歴史を学ぶ

■古代体験授業

細江小学校6年生が6月4日、同校で地域の歴史について学ぶ古代体験授業を体験しました。

まず、市内にある天の川遺跡（大沢区）や宮下遺跡（坂部区）から出土し、弥生時代や鎌倉時代に使用されていたとされる土器などを鑑賞。土器を初めて目にした児童からは、気になることを市の学芸員に次々に質問しました。

最後には「まいぎり式」による火起こし体験も行われ、児童は一生懸命取り組み、実際に火がつくと大きな歓声が上がりました。



一生懸命火起こしに挑戦する児童ら



鏡開きを行うPR大使の百田さん（中央）や杉本市長ら

静岡から世界へ「さあ、15（いこー）！」

■富士山静岡空港開港15周年祭

富士山静岡空港が6月4日に開港15周年を迎えることを記念し、6月1日に記念式典が同空港で開催されました。

式典には、富士山静岡空港開港15周年PR大使のタレント・百田夏菜子さんをはじめ、杉本市長、鈴木県知事ら約60人が出席。関係者による鏡開きが行われ、会場は祝賀ムードに包まれました。イベントでは、ANAグループ社員有志によるオーケストラ演奏会や、FDAパイロット、客室乗務員などによるトークショーなどが行われました。